

< あなたの治療について >



外科 - TDM1 - 乳腺 - q3w

今回の治療は、TDM1 という治療法で、カドサイラ（ TDM1 ）という注射薬で治療を行います。腫瘍の増殖を抑えるお薬です。

治療全体の流れ

今回の化学療法は3週間が1コースとなっています。各コースの1日目に点滴を行います。この治療を3週間(21日間)ごとに繰り返します。副作用が強く出たり、体調がすぐれない場合は回復するまで、治療を延期したり、お薬の量を減らしたりすることがあります。

1コース分の治療スケジュール

| 順序 | 薬剤商品名 (薬の作用) | 投与 | 1日目 | 2~21日目 |
|----|-----------------------------|-----------------------------|---|--------|
| | デキサート (吐き気止め) | 点滴 約30分 |  | お休み |
| | カドサイラ (抗がん剤) 3.6mg/kg | 点滴 初回 約90分 2回目から 約30分 |  | |

点滴中や点滴後に、注射部位が痛い、赤くなってはれる、水ぶくれができる、ただれるなどの症状に気づいたときは、すぐに申し出てください。また点滴中は、腕を動かすことにより針がずれ、点滴漏れが生ずることがありますので気をつけて下さい。

起こりやすい副作用について (頻度20%以上)

カドサイラについて

血小板数減少 AST (GOT) 増加 悪心 食欲減退 発熱 倦怠感 鼻出血

特徴的な副作用について

カドサイラにおける

うっ血性心不全

「階段や坂道をすこしのぼっただけで息切れがする、疲れやすい; 足がむくむ、横になると息苦しく座っている方が楽である、夜間にせき込む」などの症状

Infusion reaction

「呼吸困難、低血圧、喘鳴、気管支痙攣、頻脈、紅潮、悪寒、発熱等」などの症状

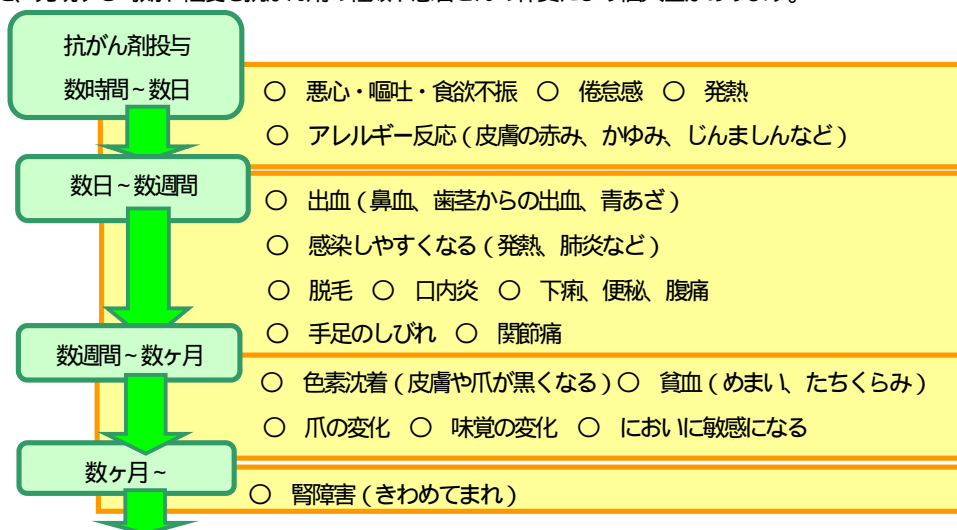
* 上記症状が現れたときは、必ず医師・看護師・薬剤師にご相談下さい。

副作用の発現時期の目安

*この図は、今回用いられている抗癌剤による副作用だけでなく、他の抗癌剤によって起こる副作用も含まれています。

これらの副作用がすべてあらわれるわけではありません。

また、発現する時期や程度も抗癌剤の種類や患者さんの体質により個人差があります。



副作用の対策について

吐き気・嘔吐，下痢と便秘，口内炎，感染症，出血，貧血，脱毛などの副作用の対策について知りたい方は、資料をお渡しすることができますのでお申し出下さい。

薬品毎の副作用について(添付文書における重大な副作用を製薬会社作成「薬のしおり」などから抜粋)

まれな副作用ですが、このような症状が現れた際には医師・薬剤師・看護師へご相談下さい。

【カドサイラ】

<間質性肺疾患>疲れ、食欲不振、体重が減る、から咳、咳、痰がでる、発熱、息切れ、息苦しい、唇が青くなる、苦しくて速い呼吸、手足のつめが青くなる、呼吸困難

<心障害>からだがだるい、吐き気、全身のむくみ、横になるより座っている時に呼吸が楽になる、息切れ、動く時の息切れ、息苦しい、動く時の動悸

<過敏症>からだがだるい、ほてり、さむけ、ふらつき、汗をかく、発熱、口唇周囲のはれ、眼と口唇のまわりのはれ、息切れ、息苦しい、かゆみ、発疹、じんましん、しゃがれ声、考えがまとまらない、判断力の低下、意識がうすれる、意識の低下

<Infusion reaction>さむけ、嘔吐、咳、発熱、めまい、まぶた・唇・舌のはれ、動悸、呼吸困難、意識障害、息苦しい、血圧が低くなる、息がせいせいする、脈拍数が増える、ほてり、悪寒

<肝機能障害、肝不全>からだがだるい、かゆみ、食欲不振、吐き気、嘔吐、白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、尿の色が濃くなる、羽ばたくような手のふるえ

<血小板減少症>鼻血など粘膜からの出血、歯ぐきの出血、あおあざができる、皮下出血、出血が止まりにくい、片側のまひ、意識の低下、考えがまとまらない、頭痛、しゃべりにくい、吐き気、嘔吐、手足のまひ・しびれ、半身不随、意識を失って深く眠りこむ、判断力の低下

<末梢神経障害>手足のしびれ、手足の痛み、運動のまひ、感覚のまひ

上記のほかにも副作用が現れることがあります。

他にもからだの異常を感じたら、主治医や薬剤師、看護師に相談してください。